

# プロ中のプロを認定

家電製品協会認定 森 拓生 センター長に聞く

家電製品協会が実施する「家電製品エンジニア」「家電製品アドバイザー」「家電製品アドバイザー」はますます多様化し、両資格制度の役割がますます重要になっている。制度発足から12年、資格取得者は14万人に達しているが、新たな取り組みを始めた。その第一弾が9月実施の全国統一試験から導入する「エグゼクティブ等級」。

森センター長 長引く国内家電不況の中で消費者は「シロ物・クロ物の単体製品」から「基礎知識を主体にしてきた」が、大きな転換期を迎えている。掃除機を語るには紙パッククリーナーの構造を想定した新しい知識の習得が必要だ。

## エグゼクティブ等級導入

資格制度

### 家電製品 裾野拡大 新知識を習得

「エグゼクティブ等級」は、家電製品協会認定センターの森拓生センター長に話を聞いた。

◆ 家電製品の現状は、



森 センター長

技術進展で製品進化には目を見張るものがある。次なるネオ家電時代のための黎明(れいめい)期の状態といえる。

ト技術進展で製品進化には目を見張るものがある。次なるネオ家電時代のための黎明(れいめい)期の状態といえる。

ネット知識不可欠

家電製品アドバイザーとエンジニアの資格制度が導

を利用し、価格の安さだけを求める消費行動も顕在化しており、この傾向が行き過ぎると、実際のニーズとのミスマッチや安全面の問題などが懸念される。

「新たな取り組みは、森センター長 家電製品アドバイザー・同エンジニア資格も二つの変革を目指している。」

一つ目は「ネオ家電時代を想定した新しい知識の習得」

通常の資格に比べ相当に難易度が高い「エグゼクティブ等級」の認定証

**認定証**  
家電製品アドバイザー



氏名 家電 花子  
一般財団法人 家電製品協会  
TEL 03-6741-9609

付 限 平成25年11月01日  
平成30年10月31日

交 効 期 間  
有 効 期 間  
注 意 事 項

第A00A123456号

**認定証**  
家電製品総合エンジニア



氏名 家電 太郎  
一般財団法人 家電製品協会  
TEL 03-6741-9609

付 限 平成25年11月01日  
平成30年10月31日

交 効 期 間  
有 効 期 間  
注 意 事 項

第E001123456号  
第E00A123456号

従来のスタンダードから、質の充実しシフトし消費者に高品質なアドバイスや、サービスを提供できるようにする。

受験者数1・3倍

そのための施策が、高得点合格の人材に特別称号のゴールドグレードとプラチナグレードを付与する「エグゼクティブ等級制度」。

今年3月の試験は、受験者数が昨年9月に比較し1・3倍に増加した。家電業界全体が変革期にあることを肌で感じ、人材のスキルチェンジの必要性に気付いている証とみている。人材育成の機運を、自ら執筆する参考書や、資格試験を通じて支援していきたい。